
第7期
相模原市緑区区民会議
活動報告まとめ



相模原市緑区区民会議
令和6年7月

第7期 緑区区民会議のまとめにあたって

緑区の目指す姿は「実る緑区」です。第7期緑区区民会議は、実る緑区を実現するために、さらなる行動のステージに入りました。

具体的には、緑区内の県立高校4校の生徒による「高校生区民会議」を開催しました。また、法政大学ソーシャル・イノベーションセンターの協力のもと、学生目線の魅力発信プロジェクトが動きだしています。これらの活動を端的に表現すると「行動する緑区区民会議」と言えそうです。

「実」の意味を辞典で調べると「家の中に財宝が満ちていることから、ひいて「みちる」、転じて「みのる」「み」の意を表す」とあります。

緑区内には多くの地域資源があります。地域資源は、財産（財宝）です。これらの地域資源（財産・財宝）を再発見し、緑区で生活する住民の福祉を増進させるために、活用するステージに入りつつあります。

今回の『第7期相模原市緑区区民会議活動報告まとめ』は、それらの具体的な活動を記しています。本まとめから、緑区の明るい未来を垣間見ることができると思います。

これまでの緑区区民会議を礎にして、いよいよ第8期に入っていきます。第8期の緑区区民会議に期待していただけたら幸いです。

最後になりますが、第7期緑区区民会議は多くの関係者に支えられてきました。関係者の皆様に御礼を申し上げます。今後の緑区区民会議も、関係者の皆様がいなくては、緑区の発展はありえないと思います。引き続き、ご協力、ご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

令和6年7月

相模原市緑区区民会議
会長 牧瀬 稔

区民会議の目的

区民会議は、政令指定都市移行に伴い施行された区制の導入にあわせて、各区の課題やまちづくりの方向性について協議を行う場として設置された附属機関（注１）で、区域内のまちづくりに関する次のような事項について話し合ったり、提案したりする機関です。

【区民会議における協議事項の例】

- 市長より諮問される事項 ○緑区基本計画の推進に関すること
- その他区民会議の目的達成に必要な事項

（注１） 附属機関

附属機関は、法律や条例に基づき設置されるもので、市民や専門家の意見を行政に反映させるため、審査や調査などを行う機関のことです。

緑区の区民会議（これまでの経過）

第１期においては、区の将来像や協働によるまちづくりの指針となる「区ビジョン」の策定に向け、市長からの諮問を受け、緑区の特色や課題、将来の方向性等について協議を重ね「緑区区ビジョン」として答申いたしました。

第２期（平成２４年７月から平成２６年７月まで）では、「緑区区ビジョン」で掲げた区のめざす将来像『地域の個性が輝き 活力あふれる交流のふるさと緑区』の実現に向け、テーマを設けて区ビジョンの推進方策について協議を行いました。

第３期（平成２６年７月から平成２８年７月まで）では、人口減少や少子高齢化の進行が予測される区の状況を勘案し、観光をテーマにした「未来を拓く活性化検討小委員会」と定住をテーマにした「魅力ある地域コミュニティ検討小委員会」の２つの小委員会を設け、区ビジョンの推進に向けた具体的な方策について協議を行いました。

第４期（平成２８年７月から平成３０年７月まで）では、「緑区区ビジョン」の評価を班に分かれて行い、区の共通の課題として、地域の情報を一括で発信する必要性などが挙げられるなど、更なる区ビジョンの推進に向けた対応方策について、協議を行いました。

第５期（平成３０年７月から令和２年７月まで）では、第１期において、協議を重ねた「区ビジョン（平成２４年度～平成３１年度）」の趣旨を継承しつつ、人口減少と超高齢化という大きな課題に対し、活力や魅力あるまちづくりが持続的にすすめられるよう、区の目指す姿を定め、取組の方向を示した「緑区基本計画」について、市長からの諮問を受け、答申いたしました。

第６期（令和２年７月から令和４年７月まで）では、緑区特有の課題である「中山間地域の振興」をテーマとして、地域の魅力を生かした施策の検討を進め、「中山間地域の振興にかかる提言書」を作成し、市長へ提出いたしました。

第7期緑区区民会議の活動内容

第7期においては、緑区基本計画の目指す姿である「実る緑区 ～都市と自然がつながり合うまちを目指して～」を実現するための視点に基づき、具体的な事業の提案を目指し、検討してまいりました。

第1、2回においては、課題に感じていることやテーマに設定したいことなどについて共有し、緑区内6地区の情報の共有化が重要であることを確認しました。

第3、4回においては、グループワーク形式で6地区それぞれの地域イベントや魅力の抽出、地域の一体感づくりなどについて意見交換を行いました。

令和5年7月には、グループワークで抽出した各地区の魅力となる施設等の視察を実施いたしました。

第5回では、これまでの意見交換から「緑区としての情報発信」に課題があることが浮き彫りになったことから、テーマを「緑区の一体性をつくるための情報発信」と定め、グループワーク形式で情報発信事業の検討を進めました。

第6回では、情報発信事業の提案に向け、グループワーク形式で手法や担い手について意見交換を行いました。この中で、各グループとも若い世代の意見を聴くことや若い世代へ情報発信することが重要であるとの意見があったため、次回から、「若者による区民会議」、「SNS等を活用した情報発信」の2つの小委員会を設置し、検討を進めることといたしました。

第7、8回では、各小委員会に分かれて事業実施に向けた検討を進めました。

「若者による区民会議」小委員会については、緑区内の県立高校4校の生徒による区民会議事業を提案し、令和6年6月21日（金）に生徒18名による「高校生区民会議」を開催いたしました。

また、「SNS等を活用した情報発信」小委員会については、学生目線の魅力発信プロジェクト事業を提案し、法政大学ソーシャル・イノベーションセンターの協力のもと、事業実施に向けて準備を進めました。

●区内視察の実施

日 時：令和5年7月27日（木）午前9時30分～午後5時

場 所：リニア中央新幹線神奈川県駅建設現場、津久井湖観光センター、小原の郷、小原宿本陣、伊勢屋酒造（古民家活用事例）、相模湖交流センター、森のイノベーションラボ FUJINO、鳥屋車両基地予定地、鳥居原ふれあいの館

内 容：橋本地域では、緑区の発展に寄与するリニア中央新幹線神奈川県駅の建設現場を視察しました。

また、市総合計画推進プログラムの中山間地域振興モデル地区となっている小原地域では、歴史的・文化的な地域資源である小原宿本陣や周辺の古民家を活用した酒蔵などの視察を行った他、森のイノベーションラボ FUJINO等を視察し、地域への理解を深めました。



●「若者による区民会議」小委員会の提案内容

事業名：緑区高校生区民会議

目 的：緑区の魅力発信などの事業を進めていくに当たり、次世代を担う若者の柔軟な発想や若者視点を踏まえた検討を行うため、高校生による区民会議を開催する。

手 法：グループワーク形式により意見交換を行う。

出席者：緑区内の県立高等学校4校の生徒 計18名

(相原高等学校、橋本高等学校、相模原城山高等学校、津久井高等学校)

議 題：(1)「緑区の魅力発信の手法」

(2)「緑区が どうであれば住み続けるか、どうなれば住みたいか」



●「SNS 等を活用した情報発信」小委員会の提案内容

事業名：学生目線の緑区 PR 推進プロジェクト事業

目 的：学生、子育て世代に向けた緑区の魅力を今までの行政になかった若者の視点でPRを行うことで、緑区の認知度向上及び移住定住の促進を図る。併せて、若者と地域住民が協力して事業を行うことを通して、緑区の一体感の醸成を図る。

手 法：若者の目線で「緑区の PR」を目的とした企画の提案をしてもらい、実施する。企画提案及び実施については、若者の主導で実施するものとして、市及び区民会議委員有志は必要に応じて、それをサポートすることとする。

協 力：法政大学ソーシャル・イノベーションセンター

相模原市緑区
イメージキャラクター
「みどり」

× SIC
Social Innovation Center

相模原市緑区の、
学生目線の魅力発信プロジェクト
活動メンバー大募集!! 5/10(金)一斉締切

法政大学ソーシャル・イノベーションセンターでは、緑区で5つの学生・地域のプロジェクトが、継続的に活動を行っています。「緑区やまなみプロジェクト・地産地消プロジェクト・しあやまふしんず」
このたび、緑区長官の御厚意のおかげから、法政の学生さんと一緒に、緑区の魅力を発信し活動をしたいという方々を募集いたします。

多摩キャンパスから徒歩3分の距離にある
「相模原市緑区」を
一緒にPRしてください!

内容

- ・企画に向けた「相模原市緑区」のPRを目的とする Instagram/YouTube等の企画・運用
- ・地域住民との協働を通じた地域の魅力の発信
- ・行政・地域の方と一緒に活動してみたい方、SNS等の発信が得意な方、取材して記事を書きたい方、地産地消活動やまち歩きなど、はたまためいもあそびたい方はじめたい方、ぜひこの活動と一緒に立ち上げてみませんか?
- ・より詳細に説明会へご応募ください。(説明会に出席しなくても参加可能です)

申し込み方法

法政大、学体、あるいは近隣に連絡先
または緑区市民会館の事務局へ電話・メール
お書き添えの上、sagami.house@sic.jpへ
メールにてお申込みください。
または、相模原市のソーシャル・イノベーションセンターで直接お申込みいただけます。
なお、郵送品に送られない方は原則にマイデータセンターで回収いたします。

主催 相模原市
緑区市民会館・相模原市緑区民会議
法政大学ソーシャル・イノベーションセンター

5/10(金)13:00~13:30
説明会をSICで実施します!

第7期 緑区区民会議開催状況

回次	開催日	出席者数	傍聴者数	審 議 内 容
1	令和4年9月6日	21	0	・緑区基本計画について ・第7期緑区区民会議の進め方について
2	令和4年11月4日	22	0	・これまでの緑区区民会議の結果について ・区民会議のテーマ設定につて
3	令和5年1月26日	17	0	・緑区における魅力の抽出について
4	令和5年5月15日	20	0	・地域の一体感づくり事例について
	令和5年7月27日	12	—	・区内視察の実施
5	令和5年10月5日	19	0	・これまでの検討内容を基にした意見のとりまとめについて ・事業提案内容の検討
6	令和5年12月27日	17	0	・事業提案内容の検討 ・小委員会の設置
7	令和6年2月9日	19	0	・各小委員会による事業提案内容の検討
	令和6年3月5日	5	—	・SNS等を活用した情報発信小委員会による事業提案内容の検討
8	令和6年5月13日	19	0	・各小委員会による事業提案内容の検討 ・活動報告まとめ（案）について
合計		延171人	延0人	

第7期 緑区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

任期：令和4年7月30日～令和6年7月29日

	氏 名	所 属 等	備 考
1	牧瀬 稔	学識経験者（関東学院大学教授）	会長
2	宮野 善三郎	藤野地区まちづくり会議	副会長
3	森 誠壽	橋本地区まちづくり会議	
4	佐藤 金男	大沢地区まちづくり会議	
5	齋藤 信夫（～R5.4.26）	城山地区まちづくり会議	
	小島 盛生（R5.4.27～）	城山地区まちづくり会議	
6	熊谷 弘	津久井地区まちづくり会議	
7	河津 暁	相模湖地区まちづくり会議	
8	松井 光臣	相模原市地区社会福祉協議会緑区連絡会	
9	立川 直子	相模原市民生委員児童委員協議会	
10	角田 健	市立小中学校PTA連絡協議会	
11	佐伯 守章	相模原商工会議所	
12	小野沢 健二	津久井地域商工会連絡協議会	
13	吉野 賢治	（一社）相模原市観光協会	
14	村上 翔一	（公社）相模原青年会議所	
15	山崎 勇貴（～R4.12.31）	（公社）津久井青年会議所	
	武井 俊長（R5.1.1～）	（公社）津久井青年会議所	
16	佐藤 鉄郎	相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会	
17	星 和美	特定非営利活動法人ふじの里山くらぶ	
18	米山 敦子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら	
19	池田 寛二	学識経験者（法政大学名誉教授）	
20	白水 敦子	公募委員	
21	松平 菜保子	公募委員	
22	日高 彩希	公募委員	
23	茂手木 祐介（～R5.6.23）	相模湖リゾート株式会社	
	梶原 英俊（R5.6.23～）	相模湖リゾート株式会社	
24	佐藤 賢策	東日本旅客鉄道株式会社	
25	中原 正貴（～R6.4.1）	神奈川つくい農業協同組合	
	武内 誠（R6.4.2～）	神奈川つくい農業協同組合	